

# 私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。

イザヤ51:1

## 2014(26)年 週 報

7月 6日

第1聖日

3359号

「聖い生活」

( I テサロニ二連続講演第14回)

### 聖言

神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。あなたがたが不品行を避け、各自わきまえて、自分のからだを、聖く、また尊く保ち、神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、テサロニケ I 4 : 3~4

#### 礼拝の恵み<sup>⑬</sup> 第一六章

#### 第五節 礼拝の土台

#### 第二節 親縁性

礼拝の第二の理由は親縁性である。神に近づく人は「父」という言葉を浮かべて近づく。「天にいます私たちの父よ。御名があがめられますように。」(マタイ六ノ九)と言うようにと教えられた。礼拝者を求めるのは父であり、礼拝者は「キリスト・イエスに」ある信仰によって、神の子となつた者である。(ガラテヤ三ノ二六)。この親縁性は前述したように神の言葉をとおしての、聖霊の更生力によつてもたらされたものである。聖書に「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からでなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることはない、神のことばによるのです。」(一ペテロ一ノ二三)。旧約においては、礼拝の場所で祭司として活動したのはアロンと子孫とであった。はじめは幕屋で、のちには神殿で、アロンとの親縁性がこの特権のための資格であった。新約においては、礼拝の特権は「全能の主のむすこむすめたち」である。「至聖所」に至る「新しい生きた道」の上には、「神の子らのみ通行許可」と記されている。・・・クリスチャンは自分の知らない神を礼拝に来るのではなくて、自分の父として知り、かつ愛する御方を、礼拝に来るのである。新生した証拠の一つは、信者は子としての霊を受けて、「アバ、父よ」と叫ぶことである。神と神を礼拝する人々との間には、天から生まれた親縁性という高貴恒久の連鎖がある。

(「礼拝」APギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話 : F A X (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

[minoru\\_yamamoto@hotmail.co.jp](mailto:minoru_yamamoto@hotmail.co.jp) メール [m7-inoru@ezweb.ne.jp](mailto:m7-inoru@ezweb.ne.jp)

二〇一四年七月六日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「聖い生活」(二テサロニ連続講演第一四回)

「神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。あなたがたが不品行を避け、各自わきまえて、自分のからだを、聖く、また尊く保ち、神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、」

(テサロニケ一四ノ三、四)

### 一、富国強兵

安倍さんは祖父岸信介から受け継いだ才能により着々と行動を起こしています。本来政治家は憲法を守り、国民と世界の平和の実現のためであるのに、このままいくと、最終的に戦争になるでしょう。なぜなら、彼は政治の世界で自分の夢を実現させたいからです。

### 二、人間の欲望

人間には三つの本能があります。食欲、性欲、それから安倍さんが人並み以上に強い本能である向上心です。どれも正しく用いると幸福を得ることが出来ますが、間違つて使用すると不幸をもたらします。聖書は本能についての警告を記しています。

### 三、きよい生活

テサロニケ教会にパウロは神に喜ばれる為にどのように歩まなければいけないかを伝えました。それは聖く歩むことです。最近問題になっているのは女性を蔑視する野次です。これはなかなか公にいられないことです。やじをうけた議員の方々は美人の方ばかりです。なくおろおろしていました。その点、マリヤはまさかと思われるような天の使いからあなたは男の子を産みます。と言われたのです。しかし、マリヤはおろおろするどころか毅然とした態度で「私は男の人を知りません。」とありのままを語ったのです。子を産めないには様々な理由があるのです。何故、背が低いのだ。色が黒いのかとかいうようなことです。出来ないことをせよというのは言葉の暴力です。性的な誘惑は私は年を取っているから関係ないというわけではありません。

せん。巧妙に違つて形で誘惑してきます。

### 四、本能の制御

性的な罪と言うのは他の罪の根本となるようなものです。情欲とは性的なことだけではありません。権力においても、欲しいと思つたなら、如何なる手段を使つても自分のものにする。これが情欲の根底です。「兄弟を踏みつけたら、欺いたりしないことです。」これは字義的には兄弟の伴侶者との不倫の事を言いますが、権力においてもいえることです。アハブ王が王宮の隣りにあつたナボテのブドウ畑を欲しくてしかたがなかつた。しかし、ナボテが先祖から受け継いだ畑は譲れないと言われたため、ナボテが神を汚す言葉を言つたと偽りを言いふらし、不敬罪にして死刑にしました。不正な仕方でもナボテのぶどう畑を奪いました。欲しいと思つたら、兄弟でも、隣人でもお構いなく、

平気で欲望を追及しようとするのです。

### 五、聖潔をめざす

「なぜなら、主はこれらすべてのことについて正しくさばかれるからです。これは、私たちが前もつてあなたがたに話し、厳しく警告しておいたところです。」「神が私たちを召されたのは、汚れを行わせるためではなく、聖潔をえさせるためです。」

① 御言葉の聖潔「年をとつた婦人たちには母親に対するように、若い女たちには混じりけのない心で姉妹に対するように勧めなさい。」(テモテ一5:2)

② 感謝をする生活 喜べない時にもいつもニコニコする生活。

③ 伝道の喜び 福音伝道をする喜び。神様からの証人としての使命の喜び。